



令和7年度第2回認知症多職種協働研修

“わたし”と“家族”の声を聴く

～認知症の人、家族、周囲の人とのすれ違いはどこから生まれるのか～

講師：聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科 教授 **北村 世都 先生**



認知症の人とその家族や周囲の人との間に入って声を聴く“わたし”たちは、
どのようにかかわればいいのでしょうか。

本人、家族を取り巻く周囲の人たちを含め地域で一緒に考えましょう。

日時

令和8年3月18日（水）

14:00～16:00

（グループワークが中心となる研修です）

会場

生涯学習センター

601講習室

（文化創造拠点シリウス6階）

定員

80名程度

大和市内在住の認知症の人、そのご家族
大和市内で認知症にかかわる医療職、
介護職などの専門職、郵便局や銀行などの
企業や商店で従事する人、チームオレンジ
民生委員など

申込

申込方法：電話または



QRコードから電子申請

申込受付期間

R8.2.12～3.16

主催：大和市人生100年推進課 認知症施策推進係 問合せ・申込先：☎046-260-5612



講師 **北村 世都** (きたむら せつ) 先生 / 公認心理師

聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科 教授

講師紹介

平成29年から開始した大和市認知症個別相談で認知症の人を介護する家族などからの相談やカウンセリングを行う。

また、介護者交流会ではファシリテーターとして会の進行を担う中で介護する家族に絶妙なタイミングでの投げかけやコメントを行い気づきをもたらし、変化や安心感につながることから参加者から絶大な信頼を寄せられている。

また、市や地域包括支援センター職員向け虐待防止研修などの講師や職員に助言などを行い、専門職の育成にも尽力されている。

著書:「認知症の人の主観に迫る 真のパーソン・センタード・ケアを目指して」(共著)

【講師より参加者の皆さまへ】

あの人は何を思っているんだろう。その人は何が好きなんだろう。

他人の心を本当に正確に理解できる人はいません。

認知症かどうかにかかわらず、人は他者の心を本当は理解できません。

だからこそ、

あえて相手の視点を取ってみる努力が必要です。

その、分かろうとする姿勢が連携や協働を生みます。

そんなことを考えるきっかけとなる研修にしたいと思っています。

認知症の人の「行きたくない」の理由を聞いたことはありますか？

電話相談や面談では家族やその周囲の人からお話を聴くことが多くなりがちです。

認知症の人は「困った人」高齢者は「こうあるべき」と決めつけている“わたし”はいませんか？

認知症の人の「意思」と家族や周囲の人の「意思」に違いがある時、認知症の人の人権を守りながらどのように折り合いをつけていくのか…

日頃、どのように人と関わっているのか、“わたし”が行っているケアや対応を振り返り、これから地域でどのように「協働」するのか…

『認知症であってもなくても、その人らしく最後まで地域で生活できる』そんな大和市を目指して、研修で得たことを組織や地域に持ち帰り、今後活かすことを目的とした**グループワーク中心の研修**です。

研修会場:大和市文化創造拠点 シリウス 601 講習室

〒242-0016

神奈川県大和市大和南一丁目8番1号

小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分

